

平成29年度事業報告

○ 経営の重点

【展示活動】国指定重要文化財「上総木更津金鈴塚古墳出土品」、国指定重要有形民俗文化財「上総掘りの用具」を中心に、市所蔵資料による郷土に関する常設展示の充実を図る。また、所蔵資料等を活用して企画展等を実施し、市民に郷土の歴史や文化を理解する機会を提供する。

【調査活動】国立歴史民俗博物館と学術研究交流に関する協定を締結し、金鈴塚古墳出土品の共同研究を実施する。また、市内外に存在する郷土資料の調査を適宜実施し、情報の蓄積を図る。

【教育普及活動】体験教室や講座等の実施を通して学習内容の深化と施設利用の促進を図る。「博物館友の会」「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」との連携により、講演会、昔のくらしに関する体験学習、団体見学に対応した旧安西家住宅の展示解説等を実施する。また、市内小中学校等に資料の貸出および講師派遣を実施する。

【施設の環境整備】定期的に施設の環境適正・環境美化に努めた。

主要事業の概要

1. 職員体制

館長1名（非常勤特別職員）・副館長（学芸員）1名・副主幹（学芸員）2名・主任主事1名
・主任主事（学芸員）1名・非常勤一般職員3名（受付業務等2名・学芸業務1名）

2. 展示活動

(1) 常設展は、「金鈴塚の輝き」・「書画の魅力」・「木更津の歴史」・「くらしの技術」で構成。

(2) 企画展等

別紙資料4 企画展等一覧参照

年度	展示名称・期間・観覧者数
28	企画展「博物館でファッションショーを〜スズコレ2017spring〜」 平成29年3月11日～6月18日（開館86日）3,929人
29	特別展「木更津の中世～真里谷武田氏とその時代～」10月14日～12月24日（開催62日）3,335人 館蔵資料展「絵画資料に見る明治時代」平成30年3月24日（土）～6月24日（日）開催中

3. 調査活動

国立歴史民俗博物館との学術研究交流 H22年度から国立歴史民俗博物館（以下、歴博と表記）と学術研究交流の協定を締結し、H25・28年に2回の延長を実施している。歴博が実施した重要文化財上総木更津金鈴塚古墳出土品の非破壊による理化学的分析結果等を参考に、全国の古墳時代研究者有志と協力して金鈴塚古墳の学術的な再検討を実施、継続中。『金鈴塚古墳研究』6号に圭頭大刀、鍔・釘、銀装鉾、鉄刀・金銅装大刀に関する内容を公表した。

文化財調査 H29年度特別展に伴う資料調査（市内4ヶ所、市外8ヶ所、県外3ヶ所）実施した。木更津市史編集部会、博物館ボランティア等の協力を得て継続実施中。

通常業務の一環として市内3ヶ所、君津市1ヶ所資料調査。

4. 管理

資料管理

・**収蔵資料管理** 重要文化財「上総木更津金鈴塚古墳出土品」の台帳の作り替え作業をH27年から文化庁、県教育委員会とともに継続して実施。29年度は特に重要有形民俗文化財「上総掘りの用具」の保存管理について、初めて文化庁の民俗文化財担当官から指示を仰ぎ、また文化庁文化財部美術学芸課文化財管理指導官に、今後の計画にある空調工事中の資料の保管方法、工事の注意点について指導を受けた。

・**寄贈資料の受入** 常時、申請のあった資料を検討の上、適宜受入を実施。

H29年度：市内個人2名から：近現代資料。 合計2件

・**寄託資料の受入** 常時、申請のあった資料を検討の上、適宜受入を実施H29年度はなし。

環境管理

H29年度：博物館保存環境調査（6月7日～6月20日、7月10日～7月24日） 昆虫類捕縛用箱型トラップを館内に2週間設置した。捕縛した昆虫類の傾向から、保存環境について調査を実施した。

5. 教育普及活動

(1) 博学連携事業

・**職場体験受入**：収蔵資料整備、環境整備などの体験をおこなった。

H29年度：中学校4校（3日間 1名1校・3名1校・4名1校）

・**講師派遣**：講師として郷土に関する講座を実施した。

H29年度：小学校1校1回

・**学校等見学受入**：小学校を中心に、昔の暮らし・社会科見学が中心で体験学習等を受け入れた。小学校の「昔の暮らし」体験学習では、「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」の協力により、かまどの火吹き、石臼による黄粉作り、いろり、行灯などの体験をおこなった。

H29年度：23校25回（小学校21 大学2） 公民館6館6回 ほか2団体

・**博物館実習生受入**：大学の学芸員養成講座に協力し学芸員資格取得希望者の受け入れを行った。

H29年度：7月22日～8月8日（15日間） 3大学3名

(2) 資料貸出等

H29年度 熟覧・撮影など 33件/計220点 貸出10件/計52点 借用33ヶ所/100点
貸出：東京湾のイカ釣り関係資料（浦安市郷土博物館）12点 昔の暮らし関係資料（県立中央博物館ほか）
借用：特別展に伴う中世文書関係資料（国立公文書館ほか）296点 など

(3) 講座など

詳細別紙資料12参照

H29年度 主催講座等を延べ27回実施した。ほかに9回講師を派遣した。

6. 協議会など

別紙資料13参照

郷土博物館金のすず協議会 H29年度：5/16・11/6 年2回実施

君津地方公立博物館協議会 木更津市・君津市・袖ヶ浦市の公立博物館による協議会。

千葉県博物館協会 県内の博物館の団体。平成22年度から協会理事担当。

日本博物館協会 「博物館研究」の年間購読等により今日的な博物館の課題、情報を収集。

その他 君津地方社会教育研究会：社会教育に関する問題解決等のため、君津地方4市の職員が集まり、実践および研修を重ねることで、専門職としてのスキルアップを図る。

7. 友の会の活動

H29年度：会員数83名 定期総会1回 役員会4回 研修会等2回 博物館事業協力4回

会報15号発刊 太田山クリーンデー2回 サークル展開催 生涯学習フェスティバル参加

8. きさらづ文化財ガイドボランティアへの委託

旧安西家住宅への来館者に対応するため、任意団体「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」に解説等を委託した。同会は、旧安西家住宅へ来館した小学3年生に昔の暮らし体験学習の受け入れも実施した。平成29年度は12月末までに開館232日間、来館者5,881人、ガイド延べ1,076人であった。

H29年度：定期総会1回 臨時定期総会1回 役員会5回 研修会4回

博物館事業協力4回 自主事業3回

9. 入館者の推移

別紙資料3参照